

<p>芸術・スポーツ</p>	<p>【代表的な研究テーマ】</p>
<p><b>keyword</b></p>	<p>□ <b>アイルランドの近代スポーツ史研究</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 近代スポーツ</li> <li>■ アイルランド</li> <li>■ ナショナルリズム</li> <li>■ フットボール</li> <li>■ アマチュアリズム</li> </ul>	<p><b>課題解決に役立つシーズの説明</b></p>
 <p><b>榎本 雅之</b> Masayuki Enomoto</p>	<p><b>【1】アイルランドのナショナルスポーツ: ゲーリックゲームズ</b></p>
<p>経済学部 准教授</p>	<p>アイルランドではゲーリックゲームズと言われるハーリング、ゲーリックフットボール、ハンドボール(ウォールハンドボールの一種)、カモギーが盛んに行われている。これらのスポーツは 1884 年に設立されたゲーリック・アスレティック協会(Gaelic Athletic Association: 以下、GAA)によって運営されている。アイルランド国内には 2500 以上のクラブが GAA に加盟している。また、日本国内でも Japan GAA が東京で活動し、毎年、アジア大会に参加している。ゲーリックゲームズはアイルランド移民を中心に行われており、世界各国でアイルランド文化を紹介し、アイルランド移民の交流の場を提供する役割を担っている。</p>
<p>【プロフィール】</p> <p>●専門分野 ・スポーツ史</p>	<p>アイルランド国内のクラブはカソリックの教区単位で組織されており、特に地方では GAA の活動が宗教や地域と密接に結びついている。競技者は全員アマチュアであり、クラブの運営もボランティアによって行われている。ハーリングは 3000 年以上前から行われ、ケルト神話『クーフリン』にも言及があること、イギリスからの独立運動と密接に結びついたことなどから、アイルランドナショナリズムを表象するシンボルとなり、アイルランドの人々に愛されている。このようなゲーリックゲームズの事例を手がかりに、極端に商業化が進むプロスポーツの問題や過疎化する地域の祭祀で継承される身体文化の消滅など、現在抱えるスポーツや身体文化の課題について検討している。</p>
<p>●略歴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2004 年 3 月 金沢大学教育学部 スポーツ科学課程 卒業</li> <li>・2007 年 3 月 金沢大学大学院 教育学研究科 保健体育専攻 修了</li> <li>・2013 年 3 月 金沢大学大学院 人間社会環境研究科 博士後期課程 修了</li> <li>・2008 年 4 月～2009 年 4 月 星稜女子短期大学特任講師</li> <li>・2009 年 4 月～2012 年 3 月 星稜女子短期大学 助教</li> <li>・2012 年 4 月～2013 年 7 月 滋賀大学経済学部 講師</li> <li>・2013 年 8 月～ 滋賀大学経済学部 准教授</li> </ul>	
<p>【所属学会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本体育学会(体育哲学、体育史、スポーツ人類学)</li> <li>・スポーツ史学会</li> <li>・日本アイルランド研究会</li> <li>・スポーツ産業学会</li> </ul>	<p><b>【2】イギリス近代スポーツとアイルランドの「インターフェイス」</b></p>
<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滋賀大学経済・DS 学部体育 会サッカー部監督</li> </ul>	<p>「イッポン」や「ハジメ」など、柔道の国際大会は日本語が使われる。それは柔道が日本発祥のスポーツだからである。現在、様々なスポーツ用語が英語なのは、近代スポーツのほとんどがイギリスに起源をもつからである。19 世紀のイギリスでは、クリケット、アスレティクス、ラグビー、サッカーなどの協会が設立され、公式ルールが制定された。これにより、それまで各地の村でバラバラに存在していた身体活動や、多くのパブリックスクールで独自のルールで行われたフットボールの形式が統一された。近代スポーツの誕生である。そして、帝国の拡大とともにイギリス近代スポーツは世界各地に伝播する。</p>
<p>アイルランドでも、19 世紀半ば、イギリス系アイルランド人の富裕層を中心にこれらのスポーツが行われていた。当時、特に人気のあったアスレティック大会はプロ(スポーツを生業とする)選手や肉体労働者を大会から排除するアマチュア規定があり、大部分が労働者階級だったアイルランド人は、大会に参加することができなかった。また、1840 年代の大飢饉による人口減少のため、これまで行われていた伝統的なハーリングやフットボールが消滅の危機に陥っていた。</p> <p>GAA はこれらの問題を解決するために設立された。肉体労働者のアスレティック大会への参加を認め、ハーリングとフットボールのルールや一教区一クラブ制を定めた。また、イギリス軍が会員になることの禁止(2001 年廃止)、GAA の会員にイギリススポーツへの参加、観戦を禁止(1971 年廃止)など対イギリスの姿勢を明確に打ち出していた。現在も GAA のグラウンドでイギリススポーツを行うことは禁止されている。このような背景から、アイルランドスポーツは、スポーツと政治、スポーツとナショナリズムの点で関心を集めてきた。しかし、私の研究はイギリス近代スポーツとアイルランドの「インターフェイス」に焦点をあて、その交流の点から、アイルランドスポーツ史を再構成することである。具体的には GAA 設立以前に行われていたスポーツが GAA にどのように関与したのか、「筋肉的キリスト教徒」や「アマチュアリズム」のようなイギリス近代スポーツの理念と GAA の理念の関係などについて、検討している。</p>	
<p><b>企業・自治体へのメッセージ</b></p>	<p>アイルランドのスポーツに関する研究。スポーツを通じた国際交流・国際理解。 サッカーの指導に関する研究。</p>